

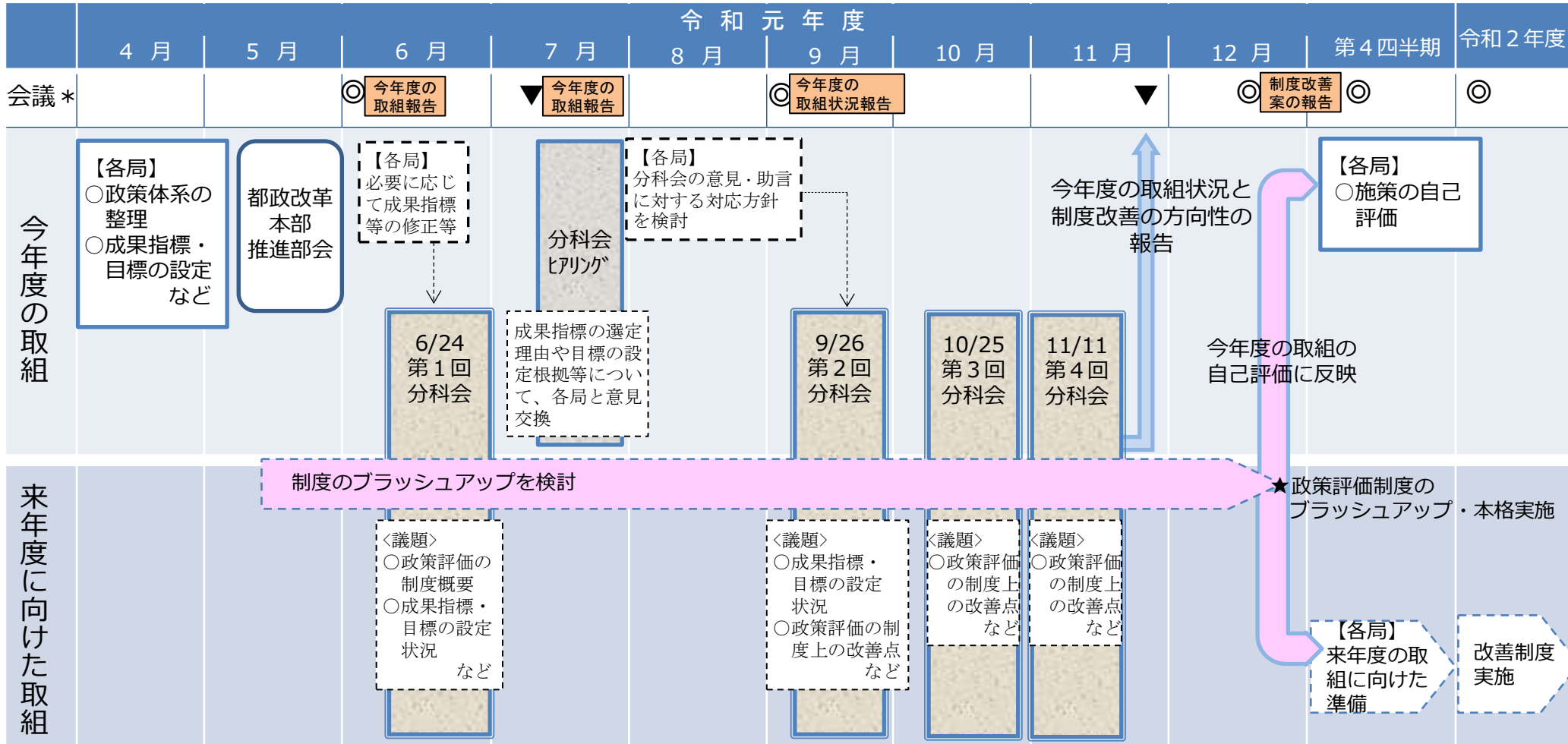
# 政策評価の取組状況について

---

令和元年11月29日  
総務局

# 1 政策評価の取組状況

- 今年度は、各局（21局）が1ユニットを対象に政策評価に取り組み、政策評価分科会の意見・助言を踏まえて、成果指標・目標を設定
- 今年度の取組状況を踏まえ、来年度に向けて制度のブラッシュアップを検討し、政策評価分科会の意見・助言も踏まえて、改善の方向性を整理



\* 都政改革本部会議（◎）、都政改革アドバイザー会議（▼）

※ 分科会開催後に、評価書（政策体系、成果指標等を記載したもの）を都政改革本部ホームページで公開

## 2 都政改革アドバイザー会議「政策評価分科会」活動状況

### 1 構成員及び専門調査員

【構成員】 会長 石田 晴美 委員（文教大学経営学部教授・公認会計士）、

西村 弥 委員（明治大学政治経済学部准教授）、水町 雅子 委員（弁護士）

【専門調査員】 大川 浩平 氏（A.T.カーニー(株) マネージャー）、出島 誠之 氏（(株)出島プランニング 代表取締役）、

中川 美雪 氏（公認会計士）、山田 英司 氏（(株)日本総合研究所 リサーチコンサルティング 部門理事）

### 2 活動状況

令和元年6月24日 第1回政策評価分科会  
（議題）・政策評価の制度概要 ・成果指標・目標の設定状況

令和元年7月22日～30日 政策評価分科会と各局（21局）とのヒアリング  
⇒成果指標・目標の設定の妥当性について意見・助言を実施

令和元年9月26日 第2回政策評価分科会  
（議題）・成果指標・目標の設定状況 ・政策評価の制度上の改善点  
（概要）・分科会の意見・助言を踏まえた各局の対応状況を報告  
・制度改善に向け、論点ごとに議論

令和元年10月25日 第3回政策評価分科会

令和元年11月11日 第4回政策評価分科会

（議題）政策評価の制度上の改善点

（概要）制度改善の基本的な考え方を整理した上で、具体的な改善案を議論

### 3 来年度に向けた制度のブラッシュアップ（1 / 2）

#### 政策評価制度のねらい

○ 今年度の取組状況を踏まえると、  
政策評価は、

- ・ **都民の視点に立って、施策**（個々の行政手段である事務事業を同じ目的単位で括った一定のまとまり）**レベルの成果（アウトカム）に着目した指標・目標を設定し、**
- ・ **この指標・目標を基軸に、施策の進捗状況を点検・分析し、**
- ・ **施策の見直し・改善につなげて、更なる成果の向上を目指していく**

取組とすべきであり、**社会・経済状況や都民ニーズを踏まえた検証**とあわせて、  
都政を取り巻く状況が大きく変化する中で、中長期的な展望に立って、各局が戦略的に施策を展開していく上で、基本とすべき取組である。



幅広い分野で、様々な施策を進める都庁において、  
具体的かつ確実に政策評価の取組を浸透させていくため、  
制度をブラッシュアップ

### 3 来年度に向けた制度のブラッシュアップ（2 / 2）

#### ブラッシュアップに向けた基本的考え方

##### 1 施策のマネジメントの強化

- これから見込まれる人口減少など、都政を取り巻く状況変化等を見据え、「成果に着目した目標達成に向けてどうすべきか・より大きな成果を生むためにはどうすべきか」「社会・経済状況や都民ニーズに的確に対応しているか」という視点から、施策の状況を点検・分析し、施策の見直し・改善へと循環させる「施策のマネジメント」を強化する。

##### 【改善の方向性1】

- ・ 成果重視の考え方を庁内に浸透させる観点から、**評価対象を重点化**（各局が重要な施策を毎年度選定）するとともに、**社会・経済状況の変化に迅速に対応し、成果を志向する今後の取組につながる仕組みへ**
- ・ 政策評価の取組から得られた具体的な**ノウハウを蓄積・共有**し、**不断のチェックにつなげ、それぞれの施策を高め合える仕組みへ**

##### 2 より分かりやすい情報発信の推進

- 政策評価の過程における透明性の確保に加え、都民の施策に対する理解・納得・共感が得られるよう、評価内容を分かりやすく説明する。

##### 【改善の方向性2】

- ・ 評価書は、施策の構成や評価内容を論理的に分かりやすく示すために必要な項目のみとし、**簡潔な記載を重視**する。あわせて、**評価内容のポイントを示した要約版も公表**

## 4 政策評価のブラッシュアップによる施策のマネジメントの強化

### 【政策評価における各局の取組フロー】

